



未来へ

谷川俊太郎

道ばたのこのスミシが今日咲くまでに
どれだけの時が必要だったことだろう
この形この色この香りは計り知れぬ過去から来た

遠く地平へと続くこの道ができるまでに
どれだけのけものが人々が通ったことだろう
足元の土に無数の生と死が埋もれている

照りつけるこの太陽がいつか冷え切るまでに
目に見えないどんな力が働くのだろう
私たちもまたその力によって生まれてきた

人は限らないものを知ることができない
だが人はそれを生きることができると
限りある日々の彼方を見つめて

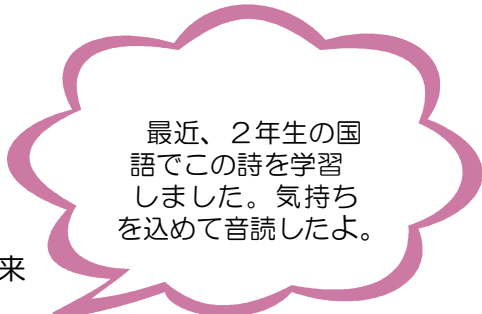
未だ来ないものを人は待ちながら創っていく
誰もきみに未来を贈ることはできない
何故なら君が未来だから



谷川俊太郎

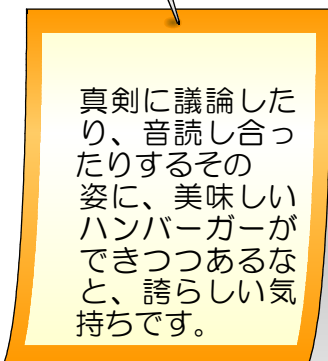
1931 (昭和6年) 東京都出身 詩人

★青春前期の中学生に贈る最高のプレゼントです！この詩！
みなさんは、この詩からどんな気持ちになりますか？
私は、何十年前の中学生だったあの日の甘酸っぱい記憶が
蘇ります。何にも怖くなかった！ バスケと友だちがいたら
それでよかった！
『この形この色この香り・・・』のところと、『何故なら君が未来
だから』のところが特に、私は好きです。



最近、2年生の国語でこの詩を学習しました。気持ちを込めて音読したよ。

この詩を、2年1組の教室に行った時に、みんなが、『どうやって音読すると一番よいのか？』『タイトル”未来へ”はどんなアクセントで読むべきか！』を議論し、お互いに読み合っていました。その表情、その声、仲間と議論する真剣さ、『まっすぐ育っている！素晴らしい！』となぜか目頭が熱くなりました。おかしいですね。



真剣に議論したり、音読し合ったりするその姿に、美味しいハンバーガーができつつあるなと、誇らしい気持ちです。

それから同じ谷川俊太郎の詩で、『春に！』をご存じですか？ちょうど、ずいぶん昔、3年間持ち上がった生徒との最後の学活で、その『春に！』を泣きながら朗読したのはいつのことでしたっけ？ 笑笑

保護者のみなさんも、一度、この詩を音読してみてください！思い出しますよ！蘇りますよ！そして、そのことをお子さんとゆっくり話してみてください！『えーーーー！！』といいながらも、きっと聞いていますよ。

